

松波総合病院

地域医療支援病院委員会議事録

No. 1303

開催日時	平成25年12月4日(水) 15:00~15:45
開催場所	松波総合病院 法人管理センター2階会議室
出席委員名	平田俊文 富田栄一 杉山栄一 白木尚孝 馬場幹司 岩越 誠 林由紀夫 山田健二 山北宜由 村山正憲 村井敏博 浅野祐史 川崎艶子 足立明隆 (事務局・早崎正信)

1. 議題及び審議内容

(1) 委員会の運営について

① 異動による委員の変更があった。

- ・ 12月1日付けで、各務原市消防本部 救急指令課 課長の神谷義春氏から同主管 林 由紀夫氏に変更した。

以上、委員すべて承認

(2) 業務報告について

次の①～④について、事務局より25年度4月～10月の実績報告があった。

① 紹介患者に対する医療提供実績(紹介率及び逆紹介率)

- ・ 平成25年4月～平成25年10月の紹介率が64.1%、逆紹介率は50.9%となり、前年より、それぞれ2.1%、10.3%増加した。

② 共同利用の実績

- ・ 平成25年4月～平成25年10月の放射線科診断部門の共同利用状況を前年と比較すると、MRは0.1%増加、CTは1.1%減少、PETは3.7%減少、放射線治療は5.2%減少した。

③ 救急医療の提供実績

- ・ 平成25年4月～平成25年10月の救急車搬送件数は、前年より47件増加した。
- ・ 同時期の救急車からの入院数は、31件減少した。入院率は40.8%で2.4%減少した。

④ 研修開催実績

- ・ 平成25年4月～平成25年10月に計13回開催され、院外349名の参加があった。
- ・ 院外参加者の内訳は、医師78名、その他スタッフ83名、消防関係者188名であった。

以上、委員すべて承認

(2) 意見交換

- ・ 地域医療支援病院の承認要件が改定される可能性が高まった。それに適合するよう改定後の条件でも算出して検討しておくべきである。以下の2点で特に注意が必要と思われる。①現行紹介率の分子から救急患者の数を除き、救急車については別途指標で評価する。②紹介率、逆紹介率ともに承認要件が引き上げられる。すでに、外来診察中にかかりつけ医が判明した場合、その場で担当医が紹介状の依頼電話をかけるなど対策を講じている病院もある。(富田委員)
- ・ 羽島郡医師会と笠松町、岐南町で災害時医療計画の見直しを行っている。大規模災害時に医師会として松波総合病院の建物の一部を使用するなど施設、人員等で協力体制を築いていく方針である。(平田委員長)

(3)「当院を取り巻く地域医療の現状と今後」について、山北委員より発言があった。

- ・ 各病院より病床機能報告を受けた県が、地域医療ビジョンを策定していく方針に沿う
- ・ 地域包括ケアシステムの導入で、医療と介護の連携が更に強化される。
- ・ 当院は高度急性期医療を担う病院としての位置づけで、かつ、在宅復帰を目指した亜急性期、回復期病棟も備える。
 - ・ 今後、当院の周辺市町の人口は減少し、高齢化も進むが、2030 年頃まで入院患者は増加することが予想される。
 - ・ 岐阜医療圏では急性期医療を提供する病院が過多傾向にある。また、隣接する愛知県側（一宮市）にも同等の医療機能を提供する病院も多い。急性期以降、患者をどこに行かせるかを考えた医療体制が必要である。
 - ・ 当院ではBSCによる指標を設け、業務を推進している。病床稼働率、紹介患者数、新入院数、救急車受け入れ数など、今年度上半期、多くの指標で数値が増加している。

(4)その他の連絡として、以下の内容を伝達した。

- ・ 平成 26 年 1 月 1 日より電子カルテに移行する。これに伴うシステム停止のため、12 月 30 日(月)午前 8 時～1 月 3 日(金)午前 8 時の間、救急車の受け入れが出来ない。詳細は、追って書面にてご連絡申し上げます。(山北委員)

以上、委員すべて承認

2. その他

(1)次回の開催について

- ・ 平成26年2月26日(水)午後 3 時を予定。後日、事務局より書面で通知する。

以上、委員すべて承認

以 上

委員長	病院長	企画情報部	事務局